



《遅れる春の丘より》(長野県北安曇郡白馬村北城)昭和61(1986)年

日本 風景紀行

向井潤吉の自然観

二〇〇七年
十二月一日[土]—三月三〇日[日]
二〇〇八年



世田谷美術館 駒沢分館
向井潤吉アトリエ館

日本風景紀行

向井潤吉の自然観

二〇〇七年
十二月一日[土]—三月三〇日[日]
二〇〇八年



旅する画家・向井潤吉。戦後四十年以上にわたり、民家のある風景を追い求め、日本各地へ赴いたその足跡は、北海道から鹿児島にまで及びます。季節や風土に誘われて、画架を担ぎ、地図を携え、新たな風景に出会う旅を続けました。それは、さながら筆と旅が紡ぎだした日本の民家を主題とした「日本風景紀行」とも言えます。

向井潤吉は、それぞれの土地の光と風を身に受けながら、民家とそれをとりまく風景を、情趣に満ちた筆致でキャンバスに写し取つてゆきました。向井潤吉にとって「旅は、制作の場であり、また創造の源泉

でもあったのです。

民家を描き続ける中で、向井潤吉は、独自に持ちえた風景に対する感覚や想いをキャンバスに重ねてゆきました。そこには、失われてゆく民家への愛惜と、自然の畏敬を抱く画家の真摯なまなざしが、根底に感じられます。

自然と人間が共生し、振幅しながら融合し築き上げる風景に美を見出し、それを追い求めた向井潤吉。本展では、それぞれの地域の風土を物語る作品のつひとつから、向井潤吉の自然観を探つてゆきたいと思ひます。

01.《山居立春》(神奈川県足柄上郡山北町世附)昭和50(1975)年 02.《自画像》大正8(1919)年
03.《雨後橋下宿》(山形県上山市橋下)昭和45(1970)年 04.《七ヶ宿街道関》(宮城県刈田郡七ヶ宿町)昭和36(1961)年頃

向井潤吉アトリエ館

世田谷美術館 駒沢分館

●開館時間/10:00~18:00(入館は17:30まで) ●休館日/毎週月曜日(ただし休日と重なった場合は翌日、年末年始・12月29日~1月3日) ●観覧料/一般200円(160円)、高校・大学生150円(120円)、小学・中学生100円(80円)、65歳以上及び障害者の方100円(80円) ※()内は20名以上の団体料金。小・中学生は土・日・祝日無料。※障害者で小・中・高・大学生、及び障害者の介護者(当該障害者一人につき、一人に限る)は無料。 ●お問い合わせ/〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1 TEL.03-5450-9581 <http://www.mukaijunkichi-annex.jp> ●最寄交通機関のご案内/東急田園都市線「駒沢大学」駅西口 徒歩10分・東急バス(渋05)渋谷~弦巻営業所「駒沢中学校」徒歩3分・東急バス(等11)祖師谷折返所~等々力「駒沢三丁目」徒歩3分・東急バス(渋11)渋谷~田園調布「駒沢大学駅前」徒歩10分・東急バス(渋12)渋谷~二子玉川「駒沢大学駅前」徒歩10分



本館情報 世田谷美術館：〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2 TEL.03-3415-6011(代)

企画展 「パオロ・ふたつの人生 鬼才・中島敦と日本のゴーギャン土方久功」 開催中~2008年1月27日(日)
「イリヤ・カバコフ『世界図鑑』—絵本と原画—」 2008年2月9日(土)~4月6日(日)

収蔵品展 「追悼—上野泰郎展」 12月11日(火)~2008年4月4日(金)

分館情報 会期:12月1日(土)~2008年3月30日(日)

成城分館 清川泰次記念ギャラリー 〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17 TEL.03-3416-1202

「こども—清川泰次が写した昭和のこどもたち—」

奥沢分館 宮本三郎記念美術館 〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13 TEL.03-5483-3836

「宮本三郎の書齋—絵画と書籍—」